

第75号

青森地区保護司会

発行：青森地区保護司会広報部
青森市長島1丁目3-28
更生保護施設プラザあすなる
青森地区更生保護サポートセンター内
TEL017-763-0763

保護司会だより



2024年7月1日 OPEN カクヒログループスーパーアリーナ（青森市総合体育館）
「健康」「交流」「防災」市民の3つの「ヨリドコロ」

撮影：令和6年5月20日 広報部

「地域における更生保護 施設の役割について」

青森県更生保護施設プラザあすなる

施設長（保護司） 笹森 康之

更生保護施設が、地域における刑務所出所者等の支援の中核的存在としての機能が求められていることからすれば、再犯防止に対する更なる取り組みが必要であるのではないかと考えるところです。

平成29年度からプラザあすなるを退所した者のうち、親族等の適当な見守りがない者等について、地域社会内での孤立を防ぎつつ、その自立を助けるため、あすなるへの通所等により「対人関係」、「就労関係」、「金銭関係」等、それぞれが抱える課題について助言し、自立生活を送る社会内で、活用する相談窓口等の必要な情報を提供する等の支援も行っています。

また、大学教授による社会生活技能訓練や専門講師による就労支援セミナー、更生保護女性会による給食奉仕活動、地区保護司OB会主催の餅つき会等、様々な行事・催し物を通して、その実施内容に合わせ、コミュニケーション能力及び社会性の向上を図るとともに、身近に支援

者がいることを感じ取らせて、更生意欲の助長を図っています。

あすなるは、昭和55年の施設老朽化による全面改装後、約20年間の事業休止期間を経て、平成12年9月30日、現在地において事業再開して以来、23年9ヶ月余が経過しました。事業再開当時から運営状況の透明性確保と説明責任を果たすため、周辺町会長や大学教授等の学識経験者をメンバーとする「青森県更生保護会館施設運営協議会」を定期的に開催し、本年2月で42回の開催を数えるにいたりました。

今後も、地域の安全・安心に貢献しつつ、地域に対して目に見える形で、有益性をアピールしていきたく、住民に対する施設の開放等、地域住民が施設をより一層、利用及び活用できるよう具体的な方策を模索したいと考えています。

今後も、地域住民の皆様方にご理解いただける、更生保護施設を目指して参る所存です。どうぞ宜しくお願いいたします。



プラザあすなる・隣は青森献血ルーム

地域住民からの犯罪予防に関する 相談対応や支援に務める

新たな事業計画

～ 令和6年度定時総会 ～

令和6年度定時総会は、5月13日、アップルパレス青森にて開催、来賓の青森保護観察所野尻所長、函館地区保護司会岡会長の挨拶後、令和5年度事業報告、収支決算を承認、続いて令和6年度事業計画案、収支予算案について審議、原案通り承認されました。(総数127名・出席者61名、委任状52名、返信無14名)

天内会長からは、持続可能な保護司制度の確立に向けた検討会が法務省で行われているということ。また、地域に寄り添い貢献する更生保護とい

うことから、地域住民からの犯罪予防に関する相談や支援、保護観察を終了した対象者からの相談を実施することを事業計画に入ったこと。さらに、飲酒運転等をはじめ保護司自身が様々な犯罪をしないようにお願いしますと話されました。

野尻所長からは、4月から保護観察官には地域丸ごと担当として、地域援助や更生保護団体への連絡調整、市町村との連携活動などのネットワーク活動を地域に発信し浸透させる役割をもたせることとした旨の話がありました。

函館地区保護司会の岡会長からは、函館地区では、保護司になっても退任する方が多く、充足率は、70%を超えることができています。青森地区では、近年充足率がずいぶん上がっている、その相談をお願いします。と話されました。



挨拶する青森地区保護司会 天内会長（写真中央）



出席した令和5年度新任保護司の紹介
(写真左から) 細川弘樹氏③、石川佳共子氏②、
蘭克己氏②、木村麻人氏①、相川征昭氏①
新任は、この他3名

令和6年度 青森地区役員等名簿

※理事名簿は、総会資料をご覧ください。

会 長	天 内 修 (第1分会)	広報部会長	佐々木 雅 久 (第5分会)
副会長	石 田 次 郎 (第1分会長)	研修部会長	塩 原 誓 子 (第2分会)
"	長 尾 幸 治 (第2分会長)	渉外部会長 (新)	木 村 弘 文 (第1分会)
"	田 邊 孝 美 (第3分会長)	地域活動部会長	阿 部 哲 (第4分会)
"	鳴 海 峰 泰 (第4分会長)		
"	佐々木 雅 久 (第5分会長)	常務理事	樋 口 修 三 (第3分会)
監 事	佐 藤 光 子 (第1分会)	事務局長	佐 藤 俊 政 (第4分会)
"	三 上 正 子 (第2分会)	会 計 (新)	逢 坂 重 良 (第1分会)
"	加 藤 節 子 (第3分会)	庶 務	山 田 啓 子 (第3分会)
"	北 山 英 之 (第4分会)	"	酢 谷 奈保子 (第1分会)
"	猪 俣 幸 子 (第5分会)	"	工 藤 美智子 (第4分会)

西秀記青森市長を迎え親睦 関係団体と親睦を深めた定時総会・懇親会

令和6年度定時総会終了後の懇親会は、来賓、関係団体の代表者、保護司OB会の皆さんを迎えアップルパレス青森で開催。(参加人数57名)

はじめに、青森地区保護司会天内修会長挨拶、来賓の西秀記青森市長からの挨拶後、令和6年2月に退任した中川隆司氏(3分会)に退任功

労保護司章が授与されました。また、令和5年9月に退任、退任功労保護司の森禎子氏(4分会)の二人に花束贈呈がありました。

乾杯は、関係団体の更生保護法人あすなろ理事長、黒瀧信行氏が務め親睦を深めました。



乾杯の音頭をとる更生保護法人あすなろ 黒瀧信行理事長



挨拶する西秀記青森市長



挨拶する新任保護司の細川弘樹氏と石川佳共子氏(写真中央)



ご来賓と青森地区保護司会の皆さん



退任功労保護司の森禎子氏と中川隆司氏



犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ
第74回 社会を明るくする運動

7月は「社会を明るくする運動」
強制月間・再犯防止啓発月間です。

社報 しゅめい

検索



黄色い羽根は、更生保護の証です。
保護司は、いつでも積極的に
着用しましょう。



「社会を明るくする運動」
法務省・保護局の
ホームページ

社会を明るくする運動の 活動報告と計画を承認

～ 青森地区推進委員会 ～



総理大臣メッセージ伝達 青森保護観察所 野尻実所長(右)と青森市長(代理・赤坂寛副市長)(左)

第74回社会を明るくする運動地区推進委員会は、6月20日(木)アピオあおもりにて青森市長(代理・赤坂寛副市長)に総理大臣メッセージを伝達、各分会から昨年度の活動報告と今年度の計画を発表、承認を得た。推進委員長は青森市長、事務局長は、青森地区保護司会天内会長が務めます。

第74回 “社会を明るくする運動”

～ 犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

学校連携事業 令和6年7月10日(火)
会場「沖館中学校」体育館

第74回社会を明るくする運動学校連携事業は、沖館中学校にて開催されました。生徒総数422名、教職員数34名。(令和6年4月現在)

はじめに、青森保護観察所野尻実所長から藤田孝仁校長へ総理大臣メッセージの伝達、次に青森市長(代理・赤坂寛副市長)と藤田校長の挨拶がありました。

第一部は、ビデオ放映(総理大臣メッセージ、社明運動CM、鉄拳のシートムービー)、第二部は、講習で「スマホ・SNSの正しい使い方」と題して青森警察署少年サポートセンター少年指導係の若佐氏が担当した。第三部は、アトラクション。沖館中の卒業生で「テンティンキャン」の演奏、そして合唱部とのコラボもありました。

閉会セレモニーでは、生徒会長よりお礼の言葉、校歌斉唱、最後に地区推進委員会天内修事務局長(青森地区保護司会会長)の挨拶で終了しました。



講習「スマホ・SNSの正しい使い方」



アトラクション



アトラクション



生徒会長からお礼の言葉
保護司会 天内修

“青森矯正展”

日時／令和6年7月15日(月・祝)

会場／青森刑務所(担当：地域活動部会)

昨年度に引き続き、矯正展での広報活動を実施しました。当日は晴天に恵まれ、開始1時間程前から並ぶ来場者に、うちわ、ティッシュ、チラシの入った広報グッズを手渡ししました。ホゴちゃんも応援に来てくれました。



るくする運動”

を支える地域のチカラ～



沖館中卒業生の「テンティンキャン」の演奏（全体の風景）



沖館中卒業生の「テンティンキャン」と合唱部



の言葉を受ける青森地区
会長



総理大臣メッセージ伝達 青森保護観察所
野尻実所長(左)と藤田孝仁校長(右)



第74回「社会を明るくする運動」 総理大臣メッセージ（You Tube より）

「社会を明るくする運動」に参加して

青森市立沖館中学校 3年 神戸 文義

今回の「社会を明るくする運動」を企画し沖館中学校で実行してくださった、青森地区保護司会の皆様、並びに関係者の方々に感謝申し上げます。この運動では、もし犯罪を犯してもあたたかく迎えてくれる人がいるんだと思えました。保護司の仕事というのは、国家公務員でありながら、ボランティアだということに、私は驚きました。犯罪を犯してしまった人や非行に走ってしまった青少年を地域ぐるみで助けるという大変な事をボランティアで行い、「人は必ず変わる。」という信念を掲げていて、社会に必要な仕事だと思いました。

私は普段生活する中で、何度も友達に当たったり、不快にさせてしまったりするような発言や行動などを取ってしまっていました。今回の話を聞いて、自分だけが良ければ良いのではなく、相手が嫌な気持ちになってしまったり、傷つけてしまったりしては、何も良い事なんてないかと再度認識しました。この話を境にして、自分だけではなく、相手のことも考えた発言や行動を心掛けて生きていこうと思います。自分とその周辺の人たちが笑顔になれば、自然と犯罪や非行行為は減っていくと思うし、その方が楽しく過ごしていけると確信できます。

これから先、社会の一端を担っていく世代として、「社会を明るくする運動」はこれからも続けていかなければならないものですが、高齢化や地域の偏見などにより、この先続けていけるのか不安が残ります。保護司になることは難しいかもしれないけど、私たちも地域の一員として受け入れることはできると思うので、偏見をなくしていけるようにしたいです。

このような貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。ここで聞いた話を忘れずにこれから生きていこうと思います。

Google ドライブでもご紹介しています。



1年 一戸 春希
青森市立沖館中学校 2年 吉田 来愛
3年 神戸 文義

第74回社会を明るくする運動 分会の社明運動紹介

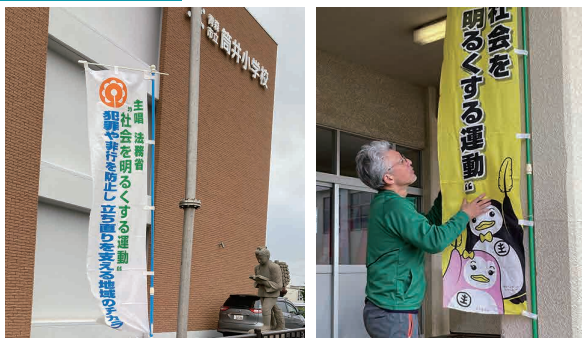
第1分会 新たな試みは、地域交流の場での広報活動



新たな活動は、7月21日(日)に平内町勤労青少年ホームにて「第11回歌と踊りの地域交流チャリティーショー」の中で、うちわ、ティッシュ、チラシを200部ほど配布、またいつも通り、平内町役場などにのぼりを設置、チラシの回覧、防災無線にての広報も実施しました。10月には、県立保健大学・大学祭での活動計画もあります。

スタッフであり参加者でもある1分会の
対馬 博氏

第2分会 3学校にのぼりを



筒井中学校・筒井南小学校・筒井小学校の3箇所に設置。撤去は7月31日。筒井中学校でのミニ集会は、中学校との調整ができなかったため、今年度はミニ集会は開催しないこととなりました。

第3分会 学校と保護司の自宅に



中学校(甲田・荒川)と3分会保護司の自宅や近隣にのぼりを立て社明運動活動になりました。甲田中学校にミニ集会を提案しましたが断られ、来年は、荒川中でのミニ集会に挑戦してみます。

第4分会 町村などに多彩な活動



外ヶ浜町、今別町、蓬田村の全世帯に社明運動のチラシを配布、総理大臣メッセージ伝達。また3町村の他、古川中学校、竜飛ホテル、平和台保育園、富田保育園にポスター掲示、のぼりを設置しました。さらに平和台保育園と鶴ヶ坂町会夏祭りにおいて、うちわとティッシュの配布を行いました。9月1日からの第18回かかしロード280に協賛し、のぼりを設置しました。

第5分会 納涼祭りでの社明も



浪岡地区安全安心まちづくり推進大会への参加、納涼祭りでのティッシュやミニうちわの配布などの啓発活動を展開しています。

令和6年3月1日付

新任保護司紹介

「保護司の委嘱をうけて」



石川佳共子

第2分会

青森市桜川

令和6年3月末で、前職を定年退職になりました。

社会活動としては、青森ロータリークラブでさまざまな奉仕活動をする中で、数人のメンバーが保護司としても活躍されていることを知り、昨年私も社会の役に立てるならと決意しました。まだまだ未熟ですが、早速「生活環境調整」の連絡をいただき先輩保護司の塩原先生に付き添っていただきました。現場で学ぶことの何と多いこと。初めての活動は私の大きな保護司としての第一歩となり、忘れられない体験になりました。

これからも、先輩保護司の方々にご指導いただきながら更生保護を通して対象者に寄り添い、明るい社会づくりを目指したい。

どうぞ、よろしくお願いします。



細川 弘樹

第3分会

青森市北金沢

私は青森市内のIT企業で研修やセミナー企画等の業務に従事しております。その中で職業訓練の業務もあり、キャリアコンサルタントとして求職者の方々の就職支援も担当させていただいてきました。この仕事の中で犯罪歴のある方の就職やキャリア形成が困難であることを知る機会があり、高校の先輩からの勧めもあって、何かお役にたてないかと考え保護司を志すこととなりました。

これまでの就職支援の仕事では、障がいのある方、高齢の方、社会経験が無い若い方、その他様々な課題に直面している方々と接しながら、本気で様々な方と向き合っていくことの難しさを感じてきましたが、希望をかなえた方の充実した様子を励みに前向きに取り組んでまいりました。

今後は保護司として諸先輩の方々のご指導を賜りながら、少しでもお役に立つことができるよう、努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



櫻田 正弘

第4分会

青森市三好

昨年12月に「更生保護法人あすなろ」の補導員として就職し、今年3月、保護司として委嘱を受けました。

私は、38年間警察官として仕事をし、退職後、民間会社で仕事をした後、罪を犯した人の更生に少しでも貢献できれば、との思いで委嘱を受けさせていただきました。

保護司の更生支援活動については、漠然とした印象しか持っていませんでしたが、研修を受講し、思っていた以上に奥深く大変な活動であることを認識しました。また、今年5月、保護司の方が更生支援を担当していた男に殺害されるという痛ましい事件の発生をみて、改めて更生支援活動の難しさと厳しさを思い知らされました。

私は、このような厳しい状況を踏まえつつも、怯むことなく罪を犯した人を更生させるという強い意志を持って更生保護活動に取り組み保護司としての責務を果たしていきたいと思います。

■新任保護司 (令和6年3月付け) 松尾 美智子 第2分会 青森市松原

応援ありがとう!!

ホゴちゃんも 汗だく!

青森矯正展で



@MENSORE_KAWABATA

メンソーレ川端さん
Instagram

令和4年度の県央ブロック研修（会場むつ市）で、出演頂きました「メンソーレ川端」さんのステージ、ホゴちゃんも応援に来ました。川端さんは、令和5年に、むつ下北地区保護司会保護司に委嘱されています。

保護司会川柳

今号は、最初なので広報部員の川柳を掲載しました。
今回のお題は「想う、思う」

きつとある 帰れる場所と 恩返し

蛸名 和人

アレよアレ 分かるよアレね 通じたね

安田 由美子

小、中、高 ずっと国語2 2がオモイ

木村 眞次

一周忌 扉の向こう 姉の声

鬼柳 久美子

影に君 雲間の光 探す旅

田川 伊吹

子は離れ 大丈夫かと 親ばかり

樋口 修三

水しぶき あなたを想う にじかけら

田中 桂子

そよ風の ように生きたい など想う

柳谷 隆男

思いびと 別れの時は 寂しけれ

佐々木 雅久

仕送り便 箱いっぱいにお惣菜

坂本 佳奈子

人生の 終着駅は 青森で

下山 康尚

保護司 川柳募集

お題・自由に
お書き下さい

【第76号・川柳の応募先】

締切日：令和6年12月27日(金)

青森地区保護司会「広報部・川柳係」宛

(郵 送) 030-0861 青森市長島1丁目 3-28

(F A X) 017-763-0764

(メール) aomori@ao-kousei.com →



川柳とは
「川柳」とは5・7・5の17音で詠まれる日本生まれの定型詩です。
川柳の作り方
日常の何気ない一コマを難しく考え過ぎず、今感じたことを5・7・5に当てはめます。音数が多くなってしまう「字余り」、少なくなってしまう「字足らず」、句と句にまたがってひとつの言葉を置いてしまう「句またがり」なども認められています。
日常の話し言葉、普段話している言葉で良いのです。重要なのは人に伝わること。頭を巡らせないと理解できないような言葉で書いてしまつては伝わりにくくなつてしまいます。簡単な表現、明瞭な表現で、感覚的に分かる言葉を選びましょう。一般的でない表現や、まわりくどい表現は避けましょう。
また、ユーモアを交えるのも一つのアイデアです。



川柳は60歳を過ぎてからの文芸

広報部 柳谷 隆男

紙と鉛筆さえあれば、いつでも、どこでもできる。それが川柳です。
「川柳とは」前段で紹介しているので、ここではちょっと寄り道。
東奥日報の世相川柳や第一生命保険のサラリーマン川柳など結構、句を目にすることがあると思いますが、作句したことがあると言う人は少ないのでは？さあ、この機会にあなたも5・7・5にチャレンジしてみたいかがですか？

同じ5・7・5の俳句は500年の歴史があり、川柳はその半分の歴史。俳句を革新したのが川柳と言われています。「雪が溶けたら水になる」ではなく、「春になる」と思いを膨らませれば、素敵な川柳の完成です。

「川柳は60歳を過ぎてからの文芸」と語るのは、青森県川柳連盟理事長の野沢省悟氏。喜怒哀楽を重ねてきた、あなたの人生の1コマの一句をお待ちしています。